

# 特別会計予算の概要

予算額 3,617億円 (前年度比9.1%減)

## 土地区画整理会計

予算額 6億円

- 東雁来第2地区土地区画整理事業の終了による減等により、前年度比62.6%の減となります。

## 駐車場会計

予算額 1億円

- 札幌駅北口駐車場の運営管理を一般会計へ移行することに伴う減等により、前年度比63.8%の減となります。

## 母子父子寡婦福祉資金貸付会計

予算額 1億円

- 資金の貸付額の減により、前年度比25.2%の減となります。

## 国民健康保険会計

予算額 1,862億円

- 制度改正(運営の都道府県単位化)に伴い、前年度比18.7%の減となります。
- 一般会計から、財政基盤の強化を目的とした法定の繰入金147億円など、総額211億円の繰入を受けます。

## 後期高齢者医療会計

予算額 261億円

- 後期高齢者被保険者数の増に伴う北海道後期高齢者医療広域連合負担金の増等により、前年度比7.0%の増となります。
- 一般会計から、財政基盤の強化を目的とした法定の繰入金48億円など、総額65億円の繰入を受けます。

## 介護保険会計

予算額 1,462億円

- 居宅や施設の介護保険サービス利用者の増加に伴う保険給付費の増等により、前年度比4.4%の増となります。
- 一般会計から、保険給付に係る費用の市町村負担分など、総額219億円の繰入を受けます。

## 基金会計

予算額 23億円

- 基金の預金等利子と財産貸付収入により、前年度比13.0%の増となります。

# 企業会計予算の概要 予算額 2,611億円 (前年度比0.8%増)

## 病院事業会計

予算額 272億円  
(前年度比0.3%減)

### 安全で質の高い医療の提供

安全で質の高い医療を提供するため、高度医療機器の更新・整備を行います。

また、経年劣化に伴う施設の更新を計画的に進めます。

### 経営健全化に向けた取組

三次救急以外の救急患者の受け入れ拡大や、医療材料の共同購入などの取組を行っており、一般会計の支援を受けながら、さらなる経営健全化に努めます。

収益的収入	236億円
収益的支出	238億円
差引 ▲	2億円
未処理欠損金	100億円

## 中央卸売市場事業会計

予算額 42億円  
(前年度比2.2%増)

### 安全で安心な生鮮食料品の供給

安全で安心な生鮮食料品の安定供給を堅持していくとともに、中央拠点市場としての機能強化のため、老朽化した場内の設備機器類の更新を行います。

### 健全経営に向けた取組

今後とも、老朽化施設の更新など、経費の増加が見込まれる厳しい経営環境の中で、健全な事業運営を継続するため、計画的・効率的な事業執行により、引き続き、より一層のコスト削減に努めます。

収益的収入	23億円
収益的支出	25億円
差引 ▲	2億円
未処理欠損金	45億円

## 軌道事業会計

予算額 40億円  
(前年度比29.6%増)

### 安全の確保

安全運行の確保のため、電力設備の増強や車両基地の改良を進めます。

### 快適なお客さまサービスの提供

街路拡幅事業に合わせて、レールの制振軌道化など既設線の再整備を進めます。

### まちづくりへの貢献

低床車両の製造、老朽化した除雪車両の更新、停留場の改良を進め、全ての人が利用しやすい路面電車を目指します。

収益的収入	20.3億円
収益的支出	20.4億円
差引 ▲	0.1億円
未処理欠損金	6億円

## 高速電車事業会計

予算額 749億円  
(前年度比2.2%増)

### 安全の確保

防災対策として南北線高架駅の耐震改修工事を進めるとともに、平成30年度から新たにシェルターの耐震改修工事を開始します。

### まちづくりへの貢献

平成31年4月実施予定の精神障がい者に対する市営交通（地下鉄・市電）の運賃割引に伴い、精算システムや券売機等を改修します。

東西線琴似駅・大通駅にエレベーターを1基ずつ新設するとともに、南郷7丁目駅にエスカレーターを2基新設します。

収益的収入	521億円
収益的支出	423億円
差引	98億円
未処理欠損金	2,211億円

## 水道事業会計

予算額 649億円  
(前年度比2.3%減)

### 安全で安定した水道水の供給

安全で安定した水道水をお届けするため、施設・設備の更新などを計画的に行います。

また、災害対策として、水道施設の耐震化や送水管の多重化、災害時重要施設（医療機関、基幹避難所）へ向かう配水管の耐震化などの事業を進めます。

### 健全経営の維持に向けた取組

経年劣化に伴う施設の更新等により、建設改良に係る経費が高い水準で推移することが見込まれる厳しい経営環境の中で、施設規模の見直しや延命化などの工夫により支出を抑え、健全財政の維持と更新財源の確保の両立を図るよう努めます。

収益的収入	453億円
収益的支出	361億円
差引	92億円
未処理欠損金	なし

## 下水道事業会計

予算額 859億円  
(前年度比1.4%増)

### 安全で安心な市民生活の維持

下水道機能の維持向上のため、適切な維持管理と、今後急増する老朽施設の計画的な改築を進めます。

また、災害に強い下水道の実現のため、雨水拡充管の整備などの浸水対策や、下水道施設の耐震化を進めます。

### 環境に与える負荷の低減

水環境を保全するため、合流式下水道の改善を図ります。また、循環型社会への貢献のため、下水道エネルギーの有効利用を進めます。

### 健全で持続可能な経営

計画的で安定的に事業運営を進めるため、経営効率化や人材育成に取組み、健全で持続可能な経営に努めます。

収益的収入	524億円
収益的支出	494億円
差引	30億円
未処理欠損金	なし